

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 3 日現在

機関番号：24506

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2013～2015

課題番号：25671022

研究課題名(和文)「国際まちの保健室」の開設と運営による在日外国人の「健康促進プログラム」の開発

研究課題名(英文)The development of "the program of health promotion" for foreign residents in the "International Town Health Care Room"

研究代表者

呉 小玉 (Wu, Xiaoyu)

兵庫県立大学・地域ケア開発研究所・教授

研究者番号：70411949

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円

研究成果の概要(和文)：外国人の健康を支援する「国際まちの保健室」は、3年間で計34回の開催、健康測定や相談件数は延べ5,137件。3年間の取り組みを通して、来所者は徐々に増え、リピーターが定着してきており、新規の来所者も増えた。外国人が利用しやすいように、外国人の集中地域での活動を展開し、本研究所の関連機関だけではなく、近隣の外国人支援団体とも連携し活動を推進してきた。その活動成果は、「外国人の健康を守る国際まちの保健室」と題して2年連続で神戸新聞で取り上げられており、近隣大学や国際交流団体からも多数見学研修に来ていることから、活動成果の波及効果やこの活動への関心の高さが伺える。

研究成果の概要(英文)：“International Town Health Care Room” has been used to support foreign residents' health, opened total 34 times, determination of health, nursing consultations calculated 5137 instances in the 3 years. With the development of “Health Care Room” in the 3 years, participants have been gradually increasing, repeater definited too, For the convenience of foreigners, it has been opened in the areas that a lot of foreign residents have been concentrated. Not only the research institute's related authorities, but also the foreigners in the near areas are participating to the activity. the results of activity is that “International Town Health Care Room”, used to promote foreign residents' health, has been published on the “Kobe newspapers” for 2 years. The universities near and international communication groups have been coming to visit the “Health Care Room”, the effect of activity and concern for the activity strongly focused on our activities.

研究分野：国際地域看護学

キーワード：外国人の健康支援 国際まちの保健室 外国人の健康問題 異文化適応

1. 研究開始当初の背景

(1) 研究の学術的背景

グローバル化が進むにつれ、日本に來日し定住化する外国人が増加している。2011 年未現在における外国人登録者数は 207 万 8,508 人であった(法務省入国管理局, 2012)。過去 10 年間で 44 万 7707 人(26.5%)増加しており、日本の総人口 1 億 2806 万人に占める割合は 1.67%となり、無視できない人口割合となってきている。また、日本の総人口と外国人登録者数の伸び率を比較してみると、それぞれ 0.7%、40.5%であり、外国人登録者数ははるかに速いスピードで伸びている(呉ら, 2012)。すなわち、現在の日本においては、グローバル化社会の人の移動に伴い、教育、仕事、医療現場など様々な生活面で多様な対応が求められていると考えられる。

日本では、昔から転勤が多く、国内での移動の自由度も高いことで、地域・地区間での国内の流動から生じた「小さな異文化」に関する異文化看護のニーズがある。また、近年急激に進化したグローバル化とともに生じた「大きな異文化」に関する異文化看護のニーズもある(呉ら, 2012)。しかしながら、グローバル化に対応するだけの態勢が整っていない面が多く、法制度の未整備や言語や文化の違いより、外国人の雇用の不安定や不平等、外国人の子どもへの不入学問題、外国人犯罪の増加など、様々な社会的問題が生じている(神原, 2010)。保健医療福祉現場も例外ではなく、新来外国人には母子保健問題、旧来外国人には高齢者介護問題、共通する問題として精神保健問題が顕在化しており、言語や文化の違いによる保健医療福祉サービスへのアクセスやコミュニケーションに支障をきたし、十分なサービスを受けているとはいえない状況にある。

(2) 「国際まちな保健室」の必要性

「まちな保健室」は、阪神大震災の後、兵庫県看護協会が独自の方式で始めた事業である。モデル事業開始から 13 年が経過しているが、現在ではほぼ全国に定着し、兵庫県だけでも 500 箇所以上の「まちな保健室」が実施されている。しかしながら、在日外国人に対応した拠点型「まちな保健室」はこれまでに存在しなかった。全国で初めて、拠点型「国際まちな保健室」を開設・運営することは、本研究の最大の特徴であり、拠点型で継続的に運営していくことで、地域の在日外国人の健康課題の明確化と健康行動への普及啓発に大いに役立つものと考えられる。多様な背景をもつ在日外国人が、多言語に対応した看護専門職による健康相談を無料で気軽に利用できる「国際まちな保健室」の開設室は、ともすれば孤立しがちな在日外国人の居場所として、ネットワーク作りの拠点として、様々な可能性を引き出すことができると考えられた。

2. 研究の目的

本研究では、在日外国人の健康を支援するための「国際まちな保健室」を開設し、在日外国人の健康促進の場づくりや場を提供する。その実践の中から在日外国人の健康ニーズを明らかにし、在日外国人のための「健康促進プログラム」を開発して継続的に実施することによって在日外国人の健康意識を高め、健康促進をすることを目的とした。

3. 研究の方法

目的を達成するため、下記の健康促進プログラムを用いた。健康相談、健康測定(血圧・脈拍・骨密度・身長・体重・体脂肪率等)、健康増進プログラムの実施、健康体操やストレッチ等であった。兵庫県明石市の地域ケア開発研究所を拠点として、主に兵庫県在住の在日外国人を対象とした「国際まちな保健室」を月一回のペースで開催する。アクションリサーチ及び量的縦断的研究デザインを用い、「国際まちな保健室」年間プログラムを作成し、広報活動としてポスターやちらしの作成・配布及びインターネットを利用して広く周知した。健康測定データ等の利用に関する説明書類を作成し、倫理審査を受けた後、毎月一回のペースで拠点常設型「国際まちな保健室」及び外国人の集中地域での出張型「国際まちな保健室」を実施した。十分な倫理的配慮のもと、研究への協力に同意した「国際まちな保健室」利用者のデータを継続的に収集した。評価尺度は兵庫県健康財団作成の健康増進プログラムの健康意識・生活習慣に関する質問用紙を使用し、日本人を対象とした質問紙は外国人にも適用であるのかについて、データより信頼性・妥当性を確認した。質問紙で調査した結果と対象者の身体測定した結果によって、活動の効果を評価し、活動の有効性を明らかにし、得られた知見の公表を努力した。

4. 研究成果

日本で暮らす外国人が日本人と同じように、生活習慣や心の悩みなどについて、気軽に相談できる場所を提供するものであり、外国人と日本人とのコミュニケーションの場、ネットワークづくりの場として機能することも目的とし、毎月一回、土曜日の 14 時から 16 時に開室、事前申込は不要、参加費は無料としている。開催において交通の便が悪い等の課題を解決するために、「国際まちな保健室」の開催場所を本研究所での「拠点型」だけでなく、外国人住民の方々が行きやすい場所での学外出張開催「出張型」も行っていた。

3 年間の実績は表 1 - 3 で示す。

表1 25年度の活動実績

月	来所者数			子育て支援	測定件数	相談件数	合計
	総数	65歳以上	65歳未満				
第1回	13	1	8	4	100	13	113
第2回	15	0	9	6	100	21	121
第3回	11	0	7	4	85	14	99
第4回	9	0	6	3	66	15	81
第5回	16	2	12	2	115	86	201
第6回	131	59	72	0	393	0	393
第7回	156	65	91	0	312	0	312
第8回	2	14	0	11	88	100	188
第9回	11	0	11	3	75	80	155
第10回	7	4	3	0	59	51	110
第11回	99	6	93	0	44	311	355
第12回	7	4	3	3	56	51	107
年間合計	477	155	315	36	1493	742	2235

表2 26年度の活動実績

表1、「国際まちの保健室」活動実績(出前の数を含む)

月	来所者数(成人)								子育て支援			測定件数	相談件数	合計
	総数	65歳以上		65歳未満		親 祖父母	就学児 以上	乳幼児						
		男性	女性	男性	女性									
4月	74	24	50	9	12	15	38	0	0	0	112	123	235	
5月	11	2	9	1	0	1	9	0	0	0	36	42	78	
6月	11	4	7	1	0	3	7	0	0	0	77	90	167	
7月	11	5	3	0	0	5	3	1	1	3	55	81	136	
8月	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	7	4	11	
9月	6	1	2	0	0	1	2	0	2	1	18	4	22	
10月	207	51	156	33	70	18	86	0	0	1	987	401	1388	
11月	7	1	4	1	0	0	4	0	0	0	40	6	46	
12月	9	2	2	1	0	1	2	2	1	2	48	75	123	
1月	84	22	62	10	11	12	51	0	0	0	164	311	475	
2月	6	3	3	0	0	3	1	1	0	1	57	89	146	
年間合計	427	116	298	57	93	59	203	4	4	8	1601	1226	2827	

表3 27年度の活動実績

月	来所者数(成人)								子育て支援			測定件数	相談件数	合計
	総数	65歳以上		65歳未満		親 祖父母	就学児 以上	乳幼児						
		男性	女性	男性	女性									
4月	4	3	1	0	0	3	1	0	0	0	31	46	77	
5月	14	6	6	1	0	5	6	1	0	1	82	121	203	
6月	4	2	2	1	0	1	2	0	0	0	32	40	72	
7月	24	11	13	1	1	10	12	0	0	0	144	222	366	
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9月	5	3	2	2	1	1	1	0	0	0	40	64	104	
10月	257	86	171	40	59	46	112	0	0	0	1111	70	1181	
11月	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	16	27	43	
12月	2	1	1	0	0	1	1	1	0	1	24	45	69	
1月	95	35	60	4	14	31	50	0	0	0	83	103	186	
2月	5	2	3	0	0	2	3	0	0	0	55	79	134	
年間合計	412	151	259	49	75	102	188	2	0	2	1618	817	2435	

3年間の取り組みを通して、目的に達成するための「国際まちの保健室」の健康促進プログラムが果たしてきた役割は、下記のことが考えられる。

(1)在日外国人住民の健康保持と健康増進
「国際まちの保健室」の開催を充実させる一方、来室者への支援の質向上にも努めた。3か月ごとの動脈硬化測定、骨密度測定、健康増進プログラム実施の推奨と個人へのプライマリヘルスケアの充実を目指して来室者

自己管理のカルテ手帳の整備を行った。来室者には、カルテに毎回測定された健康データを記入し、縦断的に自己の健康測定値の読み方を説明し、本人がそれを毎回見て、健康行動の変容を起こすように工夫した。来室者の健康評価については、「国際まちの保健室」の国際地域貢献の内容を評価するための基礎的研究として、兵庫県健康財団作成「健康増進プログラム」の質問用紙を利用して、外国人住民の健康意識と健康状態との関連性を明らかにした。また、健康意識や生活習慣と健康測定値や骨密度測定値との関連性から、来室者の健康意識を高める「国際まちの保健室」が来室者に与える影響を検証するためのデータ収集を行った。研究的な取り組みにより「国際まちの保健室」で実施している健康増進プログラムや各種測定の結果が在日外国人の健康生活状態を反映した内容であるということが実証された。

表4 研究協力者の骨密度と健康意識・生活習慣との関連性について

質問項目	all(N=59)		平均値とSD		t検定	
	Mean	Std	SS<=1514(N=26)	SS>1514(N=24)	t	p
1.あなたは現在健康であると思っていますか	2.93	0.69	3.15±0.60	2.75±0.67	-2.22	0.03
2.あなたは、早寝早起きや3度の食事など、規則正しい生活ができていますか	2.64	0.94	2.85±0.89	2.46±1.01	-1.44	0.16
3.あなたは体重を測るようにしていますか	3.00	1.03	3.39±0.93	2.83±0.82	-2.05	0.05
4.あなたは食べる量と運動量のバランスを考えていますか	2.64	0.96	3.04±0.91	2.38±0.96	-2.61	0.01
5.あなたは一日30分以上の運動を行っていますか	2.83	1.07	2.58±0.98	3.23±0.98	-2.23	0.03
6.あなたは歩き方を心がけていますか	2.49	1.02	2.67±1.01	2.54±1.05	0.45	0.65
7.あなたは日常生活の中で身体をバランスよく使う工夫を行っていますか	2.68	0.92	2.90±0.97	2.63±0.87	-1.19	0.24
8.あなたは通勤や買い物等外出時に歩いたり自転車を使うことをしていますか	3.25	0.99	3.40±0.86	3.20±0.76	-0.81	0.42
9.あなたはラジオ体操またはストレッチ体操などを行っていますか	1.68	0.94	1.88±1.08	1.59±0.70	-1.11	0.27
10.あなたはウオーキングなどの有酸素運動を行っていますか	2.73	1.08	2.89±1.06	2.51±1.12	-1.27	0.21
11.あなたは腰や脚などの筋トレを行っていますか	2.15	1.06	2.39±0.97	2.16±1.17	-0.72	0.48
12.あなたは運動の量や時間、距離、頻度で把握するようにしていますか	2.19	0.99	2.65±0.98	1.88±0.98	-2.92	0.01
13.あなたは自由時間を過ごしている時間が多ですか	2.75	0.99	2.77±0.96	2.75±1.05	-0.07	0.95
14.あなたは食事を楽しく食べるようにしていますか	3.12	0.77	3.42±0.80	2.79±0.74	-3.13	0.00
15.あなたは普段夕食をしないようにしていますか	2.85	0.96	2.89±1.00	2.62±0.93	-0.93	0.35
16.あなたは食事の量を減らしていますか	2.32	0.84	2.62±0.87	2.08±0.80	-2.23	0.03
17.あなたは間食をしないようにしていますか	2.54	0.92	2.76±0.91	2.33±0.90	-1.73	0.09
18.あなたは主食や副菜をそろえて食べるようにしていますか	2.92	0.90	3.00±0.92	2.75±0.85	-0.96	0.34
19.あなたは外食などを利用するときは栄養バランスに気をつけていますか	2.80	0.89	2.65±0.89	2.79±0.84	0.55	0.59
20.あなたは野菜を食べるようにしていますか	3.32	0.71	3.19±0.79	3.38±0.58	0.92	0.36
21.あなたは塩辛いものを食べ過ぎないようにしていますか	2.73	0.94	2.85±0.97	2.46±0.93	-1.48	0.15
22.あなたは外食などを食べたとき味付け控えめにしていますか	2.46	0.95	2.69±0.95	2.33±0.91	-1.41	0.17
23.あなたは牛乳や他の乳製品をとっていますか	3.12	0.91	3.04±1.00	3.16±0.81	0.49	0.62
24.あなたは大豆・大豆製品を食べていますか	3.07	0.81	2.96±0.95	3.04±0.62	0.35	0.73
25.あなたは油こいものを選んでいますか	2.53	0.95	2.81±0.84	2.25±1.07	-2.26	0.03
26.あなたはストレスを解消するように工夫していますか	2.66	0.76	2.65±0.67	2.66±0.80	0.06	0.96
27.あなたは日々の生活に充実感を感じていますか	2.97	0.87	3.27±0.88	2.67±0.85	-2.59	0.01
28.あなたは日頃からよく眠るように工夫していますか	2.69	0.91	2.96±0.98	2.25±0.85	-3.01	0.00
29.あなたは日頃から気分転換や息抜きができていますか	2.68	0.92	2.77±1.08	2.46±0.68	-1.23	0.23
30.あなたはお酒を飲まないようにしていますか	3.20	1.00	3.27±0.91	3.00±1.06	-0.90	0.37
31.あなたはタバコを吸わないようにしていますか	3.86	0.57	3.85±0.18	3.83±0.81	-0.07	0.94
32.あなたはよく噛んで食べるようにしていますか	2.85	0.94	2.96±0.92	2.75±0.99	-0.77	0.45
33.あなたは定期的な歯科健康診査を受けていますか	2.15	1.01	2.61±1.03	1.88±0.98	-2.84	0.01

表5 体脂肪率と健康意識・生活習慣との関連性について

質問項目	all (N=59)		平均値とS.D		T検定	
	Mean	Std	体脂肪率<= 28.5(N=32)	体脂肪率> 28.5(N=27)	t	p
1.あなたは現在健康であると思っていますか	2.93	0.69	2.84±.68	3.04±.71	-1.07	0.29
2.あなたは、早寝早起きや三度の食事など、規則正しい生活ができていますか	2.64	0.94	2.72±.89	2.56±1.01	0.66	0.51
3.あなたは体重を測るようにしていますか	3.00	1.03	3.19±.93	2.76±1.12	1.53	0.13
4.あなたは食べる量と運動量のバランスを考えていますか	2.64	0.96	2.56±.91	2.74±1.02	-0.71	0.48
5.あなたは一日30分以上の運動を行っていますか	2.83	1.07	2.75±.98	2.93±1.17	-0.63	0.53
6.あなたは歩き方を心がけていますか	2.49	1.02	2.56±1.01	2.41±1.05	0.58	0.57
7.あなたは日常生活の中で身体をバランスよく使う工夫を行っていますか	2.68	0.92	2.66±.97	2.70±.87	-0.20	0.85
8.あなたは運動や買い物等外出時に歩いたり自転車を使うことをしていますか	3.25	0.99	2.96±1.16	3.50±.76	2.13	0.04
9.あなたはラジオ体操またはストレッチ体操などを行っていますか	1.68	0.94	1.84±1.08	1.46±.70	1.50	0.14
10.あなたはウォーキングなどの有酸素運動を行っていますか	2.73	1.08	2.69±1.06	2.76±1.12	-0.32	0.75
11.あなたは運動や脚などの筋トレを行っていますか	2.15	1.06	2.03±.97	2.30±1.17	-0.95	0.34
12.あなたは運動の量を時間、距離、頻度で把握するようにしていますか	2.19	0.99	2.06±.98	2.33±1.00	-1.05	0.30
13.あなたは自由時間を過ごしている時間が多ですか	2.75	0.99	2.72±.96	2.76±1.05	-0.23	0.82
14.あなたは食事を楽しく食べるようにしていますか	3.12	0.77	3.06±.80	3.19±.74	-0.61	0.55
15.あなたは普段夕食をしないようにしていますか	2.85	0.96	2.81±1.00	2.89±.93	-0.30	0.76
16.あなたは食事を量り分目に行っていますか	2.32	0.84	2.22±.87	2.44±.80	-1.03	0.31
17.あなたは朝食をしないようにしていますか	2.54	0.92	2.38±.91	2.74±.90	-1.55	0.13
18.あなたは主食や副菜をそろえて食べるようにしていますか	2.92	0.90	2.75±.92	3.11±.85	-1.56	0.12
19.あなたは外食などを利用するときは栄養バランスに気を付けていますか	2.80	0.89	2.72±.89	2.89±.89	-0.73	0.47
20.あなたは野菜を食べるようにしていますか	3.32	0.71	3.22±.79	3.44±.58	-1.23	0.22
21.あなたは塩辛いものを食べ過ぎないようにしていますか	2.73	0.94	2.69±.97	2.76±.93	-0.36	0.72
22.あなたは外食などを食べたとき味付けを控えていますか	2.46	0.95	2.25±.95	2.70±.91	-1.86	0.07
23.あなたは牛乳や他の乳製品をとっていますか	3.12	0.91	3.19±1.00	3.04±.81	0.63	0.53
24.あなたは大豆・大豆製品を食べていますか	3.07	0.81	3.06±.95	3.07±.62	-0.05	0.96
25.あなたは油こいものを避けていますか	2.53	0.95	2.41±.84	2.67±1.07	-1.05	0.30
26.あなたはストレスを解消するように工夫していますか	2.66	0.76	2.47±.67	2.86±.80	-2.19	0.03
27.あなたは日々の生活に充実感を感じていますか	2.97	0.87	2.84±.88	3.11±.85	-1.18	0.24
28.あなたは日頃からよく寝られるように工夫していますか	2.69	0.91	2.63±.98	2.78±.85	-0.64	0.53
29.あなたは日頃から気分転換や息抜きができていますか	2.68	0.92	2.56±1.08	2.81±.88	-1.05	0.30
30.あなたはお酒を飲まないようにしていますか	3.20	1.00	3.41±.91	2.96±1.06	1.73	0.09
31.あなたはタバコを吸わないようにしていますか	3.86	0.57	3.97±.18	3.74±.81	1.55	0.13
32.あなたはよく噛んで食べるようにしていますか	2.85	0.94	2.84±.92	2.85±.99	-0.03	0.97
33.あなたは定期的に歯科健康診査を受けていますか	2.15	1.01	2.31±1.03	1.96±.98	1.33	0.19

上記の結果に基づき、健康促進や健康相談で活用し、さらに外国人の健康増進プログラムの内容を充実した。

(2)外国人が生活習慣や心の悩みなどについて気軽に相談できる場所作り

具体的な相談内容としては、「医師の説明や診断結果等の説明について理解できない部分があること」、「母国語しか話せないので、医療機関に行きにくい」といった言葉の壁によって生じた困難、「健康保険に加入していないため受診しないこと」、「健康保険に入ったら高いかと思って入らないまま5年間過ごしてきた」、「まちの保健室というのに対して、無料で利用できることを信じられない」といった保健医療制度に関する知識不足の壁によって生じた困難、「日本人家族との文化や価値観などの相違によって子育てなどのストレス」、「両親が『国に帰ってきてほしい』等、それがストレスになり、自分のキャリアはどうしたらよいかという悩み」といった国境の壁による生じた困難などであった。

これらの相談内容から在日外国人の健康問題に及ぼす要因として、1)保健医療機関を利用する際の言葉の壁、2)健康保険や医療制度に関する知識不足の壁、3)異なる文化や価値

観の壁、4)異文化不適應から生じた悩みの解消の壁、5)母国にいる家族との関係性から生じた国境の壁の5つの壁が考えられた。このような壁を取り除いていくには、利用者の母国語あるいは理解しやすい言語での対応、必要に応じた家族単位での相談、日常生活上の多様な問題や心の悩みに対応できるよう他職種との連携や他の社会資源の活用が必要であることが示唆された。

健康相談では、言語、文化、制度が異なることから生じている問題があるが、母国語で、保健医療福祉制度や生活に必要な情報を得る機会となっている。また、母国語で話すことによるストレス解消の場となっていると考えられた。特に、他人には話にくいプライベートな悩みについては、日本語ではなく、来室者の母語または英語など、来室者にとってより理解しやすい言葉で悩みや相談を話すことにより、来室者がよりリラックスでき、打ち明ける内容も深くなる傾向があると考えられる。

(3)外国人と日本人とのコミュニケーションやネットワークづくりの促進

「国際まちの保健室」は初年度からのさまざまな広報活動を通して、周辺の在日外国人に知られるようになり、兵庫県看護協会との良好な連携のもと開催している。スタートして3年間の取り組みを通して、来所者は徐々に増え、リピーターも定着してきており、また、来所者の誘いによる新規の来所者も増えている。

一方、健康である外国人にとっても、地域住民との交流の場となり、親戚や友人の少ない外国人が外出するきっかけ作りになる。言葉の壁や医療制度の違いなど、様々な理由で病院に足が向かない外国人が気軽に訪れる場所として提供ができていていると考える。

外国人同士間及び地域住民間との交流の場づくりを通して、下記の役割を果たした。

外国人どうしの交流が深まる。日本の保健医療制度等について詳しい外国人を中心に、外国人間で情報交換ができる。外国人と地域住民間の交流が深まり、外国人が日本の文化に触れる機会が増えるということからみて、地域に根ざしたヘルスケア事業になりつつあり、地域に貢献できる事業の基盤を作ることが出来たと考える。

(4)地域貢献と国際看護実践のフィールド

「国際まちの保健室」での活動は、地域貢献と国際地域看護学実践の融合を目指したフィールドとして、学生にとっては、国内にしながら外国人を理解する機会になり、外国人の生活様式、文化、地域性、国の制度の違いから生じた身体的、社会的、心理的な不適應状態、または外国人がそれらに適應するために取っている方法等の理解に役立っている。また、「国際まちの保健室」においては、院生にとっては国際地域での実践の場として、

自分の文化とは違う国の人と「向き合う力」を高めることができる。たとえ言葉が通じなくても看護のこころが伝わるといった国際看護の実践能力を積む一つの場になると考える。

地域貢献と職務や学務のバランスに関して、拠点型では、月一回の土曜日開催の頻度となっており、看護師ボランティアの協力を得て、職務とのバランスは取れていると考えられる。また、出前型の出務については、ほとんどが外国人が利用しやすい週末での開催となっており、本務に影響することなく地域貢献ができていると考える。

今後は研究成果を外国人住民に還元し、外国人も日本の住民と同等な健康生活の向上を目指した取り組みに発展させ、多くの在日外国人住民への健康生活支援の効果を検証し、健康づくり支援の方策を導き出すなど多方面からの健康サポートを目指す努力をしていく。

<引用文献>

21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）の推進について、「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」の改正案、厚生労働省HP:<http://www.mhlw.go.jp/index.html>

呉小玉、段亜梅、森口育子. 中国の異文化看護におけるレイニンガー看護理論導入の実態分析. 日中医学 26(2).2012,7-10.
呉小玉他: 在日外国人の健康支援活動に向けた「国際まちの保健室」開設と運営に関する報告、兵庫県立大学地域ケア開発研究所研究活動報告集 Vol.8, 2014, p22-27

兵庫県健康財団: ひょうご健康増進プログラム 2012, 健康づくり運動・栄養実践プログラム, ひょうご県民健康プラン, 兵庫県健康財団からだの健康部出版, 平成23年度改訂版, 2012

呉小玉, 大野かおり, 鶴山治, 佐々木八千代, 奥野信行, 近田敬子. 園田キャンパス「まちの保健室」の参加者の身体状況と健康意識、生活習慣の実態～兵庫県健康増進プログラムの実施を通して～. 園田学園女子大学論文集 42. 2010. 121-132

清田敏恵, 松尾恵子, 松井通子, 他: 「まちの保健室」における看護ニーズ、日本看護学会論文集、地域看護 34号 2004, 3-5

野原隆彦, 木原勇夫, 他: 健康に及ぼす運動の効果について－住民健康調査の結果から－. 島根医科大学紀要, 2000, 23: 25-28
石田貞代, 関根籠子. 青年期女子の生活習慣と骨密度に関する研究、静岡県立大学短期大学部 特別研究報告書 (13・14年度) -10. 2003.1-9

Carmines, E. G., & Zeller, R. A: Reliability and validity assessment. Sage Publications: Newbury Park, 51. 1979

⑩松田智香子, 波多野義郎, 上田留理他. 中・高年者の身体組成と健康体力評価、九州保健福祉大学研究紀要 6号, 2005, 173-177
森井浩世: 骨粗鬆症テキスト - 予防と治療の正しい理解のために -, 南江堂 .1999, 58

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計6件)

呉小玉, 黒瀧安紀子, 中田涼子, 佐藤文子, 井上清美, 李錦純, 神原咲子, 黒野利佐子, 那須潤子, 山本あい子, 「国際まちの保健室」に参加する在日外国人の健康意識、生活習慣と健康状態の関連性、兵庫県立大学紀要、第23巻, 査読有, p69-73, 2016

呉小玉, 佐藤文子, 中田涼子, 井上清美, 李錦純, 黒瀧安紀子, 神原咲子, 黒野利佐子, 那須潤子, 山本あい子, 在日外国人住民の健康を支援するための「国際まちの保健室」に関する実践報告、兵庫県立大学地域ケア開発研究所研究活動報告集, Vol.1, p59-65, 査読無, 2016-3

Nakata Ryoko, Nasu Junko, Inoue Kiyomi, Kurono Risako, Lee Kumsun, Kurotaki Akiko, Sato Fumiko, Kanbara Sakiko, Yamamoto Aiko, Wu Xiaoyu, Foreign residents' barriers to health: findings from consultations at the International Town Healthcare Room in Hyogo, Journal of International Health, Vol.29. No.3. 査読有, p329. 2014-11

Nasu Junko, Lee Kumsun, Kurotaki Akiko, Nakata Ryoko, Inoue Kiyomi, Kanbara Sakiko, Yamamoto Aiko, Wu Xiaoyu, International Town Health Care Room in Hyogo: health promotion for foreign residents, Journal of International Health, Vol.29.No.3. 査読有, p177. 2014-11

呉小玉, 那須潤子, 中田涼子, 井上清美, 黒野利佐子, 李錦純, 黒瀧安紀子, 佐藤文子, 神原咲子, 山本あい子, 在日外国人の健康支援活動に向けた「国際まちの保健室」の開設と運営に関する報告、兵庫県立大学地域ケア開発研究所研究活動報告集, Vol.8, p22-27, 査読無, 2014-3

呉小玉, 那須潤子, 李錦純, 黒瀧安紀子, 金川真理, 井上清美, 神原咲子, 中田涼子, 山本あい子, 「国際まちの保健室」の開設と運営による在日外国人の健康支援活動の報告、兵庫県立大学地域ケア開発研究所研究活動報告集, Vol.7, p27-29, 査読無, 2013-3

[学会発表](計4件)

佐藤文子, 呉小玉, 中田涼子, 井上清美, 李錦純, 黒瀧安紀子, 神原咲子, 黒野利佐

子,那須潤子,山本あい子、在日外国人住民の健康を支援するための「国際まちの保健室」に関する実践報告、第31回日本国際保健医療学会、2016年12月3-4日、久留米シティープラザ(福岡県久留米市)
黒瀧安紀子,呉小玉,中田涼子,李錦純,佐藤文子,神原咲子,井上清美,黒野利佐子,那須潤子,山本あい子:在留外国人の健康支援活動:「国際まちの保健室」3年目の取り組み、第30回日本国際保健医療学会、2015年11月21~22日、金沢大学(石川県金沢市)
中田涼子,那須潤子,井上清美,黒野利佐子,李錦純,黒瀧安紀子,佐藤文子,神原咲子,山本あい子,呉小玉、在留外国人への健康支援活動「国際まちの保健室」2年目の取り組み、第29回日本国際保健医療学会、発表、2014年11月1~3日、東京女子医科大学(東京都新宿区)
那須潤子,李錦純,黒瀧安紀子,金川真理,中田涼子,井上清美,神原咲子,山本あい子,呉小玉、在日外国人の健康支援活動:「国際まちの保健室」の取り組み、第28回日本国際保健医療学会自由集会、口演発表、2013年11月3日、名城大学(沖縄県名護市)

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

〔その他〕

ホームページ等

(国際まちの保健室HP :
<http://kokusaimachiho.hateblo.jp/>)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

呉 小玉 (WU, Xiaoyu)

兵庫県立大学・地域ケア開発研究所・教授
研究者番号: 70411949

(2) 研究分担者

山本 あい子 (YAMAMOTO, Aiko)

兵庫県立大学・地域ケア開発研究所・教授
研究者番号: 80182608

(3) 研究分担者

佐藤 文子 (SATO, Fumiko)

千里金蘭大学・看護学部・准教授
研究者番号: 80512417

(4) 研究分担者

中田 涼子 (NAKATA, Ryoko)

神戸常盤大学・保健科学部・講師
研究者番号: 80554229

(5) 研究分担者

黒野 理佐子 (KURONO, Risako)

神戸常盤大学・保健科学部・准教授
研究者番号: 90352921

(6) 連携研究者

李 錦純 (LEE, Kumsun)

兵庫県立大学・看護学部・准教授
研究者番号: 60584191

(7) 連携研究者

黒瀧 安紀子 (KUROTAKE, Akiko)

兵庫県立大学・地域ケア開発研究所・講師
研究者番号: 70593630

(8) 連携研究者

井上 清美 (INOUE, Kiyomi)

神戸常盤大学・保健科学部・教授
研究者番号: 20511934

(9) 連携研究者

神原 咲子 (KANBARA, Sakiko)

高知県立大学・看護学部・准教授
研究者番号: 90438268